

インフルエンザHAワクチンの予防接種をご希望の方に

1. インフルエンザと合併症

患者さんのせきやくしゃみにより、インフルエンザウイルスが空気中に浮かんでいたり手についたりして、気道に感染します。感染して1～5日すると、だるくなったり、急な発熱、のどの痛み、せき、くしゃみなどの症状が出始めますが、普通は約1週間で治ります。健康な人がインフルエンザにかかった場合は重症化することがまれなため、インフルエンザは危険な疾患として重要視されていませんでした。しかし、近年、インフルエンザの流行時にみられる乳幼児の突然死や脳症の中にインフルエンザウイルスが原因と思われる症例があることや、基礎疾患をもつ小児は合併症を起こしやすく、死亡の原因になる場合もあることが分かってきて、重大な感染症として認識されるようになりました。

2. ワクチンの副反応

ワクチン接種に伴う副反応として、発熱や、注射部位が赤くはれたり、硬くなったりします。発現頻度として発熱は100人に数人位、赤くはれたりするのは10人に1人位です。

3. 次の方は接種を受けないでください

- 1) 明らかに発熱している方（通常は37.5℃をこえる場合）
- 2) 重い急性疾患にかかっている方
- 3) 本剤の成分により、アナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身のひどいじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）を起こしたことがある方
- 4) その他、いつも診てもらっている医師にワクチンは受けない方がいいといわれた方

4. 次の方は接種前に医師にご相談ください

- 1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患及び血液疾患などの基礎疾患のある方
- 2) 出生時に未熟児で発育の悪い方
- 3) 発育が悪く、医師、保健師の指導を受けている方
- 4) 前回の予防接種を受けた時、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状のみられた方
- 5) 薬の投与又は食事（鶏卵、鶏肉など）で発疹が出たり異常をきたしたことがある方
- 6) 過去にけいれん既往歴のある方
- 7) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことがある方もしくは、近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- 8) 気管支喘息のある方

5. 接種後は以下の点に注意してください

- 1) 接種後30分間は、アレルギー反応（じんましん、せきなど）が起こることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- 2) 副反応（発熱、頭痛、けいれんなど）の多くは24時間以内に出現することが知られています。接種後1日は体調に注意しましょう。
- 3) 接種後に接種部位が赤くはれたり痛む場合がありますが、通常4～5日以内に軽快します。なお体調に変化があれば速やかに医師の診察を受けてください。
- 4) 接種後の入浴は問題ありませんが、注射部位をこすことはやめましょう。
- 5) 接種当日はいつも通りの生活をしてください。但し激しい運動は避けてください。

「インフルエンザHAワクチン接種予診票」にご記入の上、医師の診察をお受けください。もし、ふだんと変わったことがあった場合には医師にご相談ください。

接種 予定 日	第1回目	月	日 ()	医療 機 関 名	〒950-2015 新潟市西区西小針台2丁目1-5 早川小児科クリニック 院長 早川 広史
	時間：				
	第2回目	月	日 ()		
	時間：				